

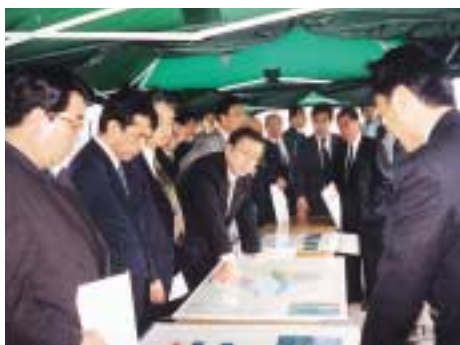
衆議院・参議院の 各委員会が来沖

衆議院予算委員会、参議院総務委員会、参議院経済産業委員会、参議院厚生労働委員会及び参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会、参議院経済産業委員会の衆・参あわせて五つの委員会が、平成十四年一月十五日から十七日にかけて沖縄の実情視察などのために来沖しました。

五つの委員会のうち、沖縄総合事務局が対応した参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会、衆議院予算委員会、参議院経済産業委員会の三委員会について報告します。

参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会

参議院沖縄及び北方問題に関する特別委員会（佐藤雄平委員長）の委員八名は、一月十五日から十七日にかけて沖縄の振興開発及び基地問題等の実情調査のため来沖し、沖縄総合事務局、那覇防衛施設局、外務省沖縄事務所、沖縄県、北部市町村長から概況説明を受けたほか、経済団体との意見交換、名護市国際海洋環境情報センター、特別自由貿易地域、中城湾港泡瀬地区、米軍那覇港湾施設等を視察しました。視察後の記者会見で佐藤委員長は、今国会での沖縄振興新法等の審議に向けてこの三日間の視察を意義ある形として表していきたいと述べました。



中城湾港泡瀬地区を視察する沖縄及び北方問題に関する特別委員会委員

衆議院予算委員会

衆議院予算委員会の調査が一月十五日から十六日の二日間実施されました。野呂田委員長を団長とする総勢二十名の調査団は、十五日、沖縄総合事務局や外務省沖縄事務所、那覇防衛施設局、沖縄県等から県内の経済概況のほか、基地問題、米中核同時テロによる観光関連への影響、厳しい雇用情勢などについて説明を受けた後、旧海軍司令部壕のほか、国立戦没者墓苑、平和の礎を訪れました。十六日は、読谷村の「やちむんの里」や「読谷山花織工房」を訪れたほか、海洋博覧会地区に建設中の新水族館や熱帯ドリームセンターを視察しました。委員長からは、今回の視察で得た成果を今後の国政審議に十分活かしていきたい旨の話がありました。



国立沖縄戦没者墓苑を参拝する衆議院予算委員会調査団

参議院経済産業委員会

参議院経済産業委員会による米軍同時多発テロ事件を受けた県内の経済界への影響等の調査が一月十五日、十六日の二日間にわたり行われました。一行は、保坂委員長をはじめとする十四名で、観光関連産業や管内経済界からの景気状況等のヒアリングや特別自由貿易地域、国際通り商店街、サンフティーマ、沖縄産業支援センター施設や企業等の視察を行いました。委員会からは、今回の視察等を通じ、沖縄における現下の厳しい経済情勢を痛感するとともに、景気の回復と地域経済の活性化を図るため適切な産業政策を強力に推進する事の必要性を強く感じた旨のコメントがありました。



沖縄県工業技術センターを視察した後の参議院経済産業委員会